

製品名: EPCAM マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80849**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	EPCAM
別名	ESA; KSA; M4S1; MK-1; DIAR5; EGP-2;EGP40; KS1/4; MIC18; TROP1; TACSTD1; EPCAM
遺伝子 ID	4072.0
SwissProt ID	P16422
免疫原	大腸菌で発現したヒト EPCAM の精製された組み換え断片。

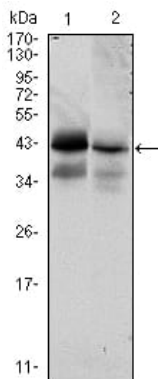
背景

この遺伝子は癌関連抗原をコードし、少なくとも2つのI型膜タンパク質を含むファミリーのメンバーです。この抗原は、ほとんどの正常上皮細胞および消化管癌に発現しており、同型のカルシウム非依存性細胞接着分子として機能します。この抗原は、ヒト癌の免

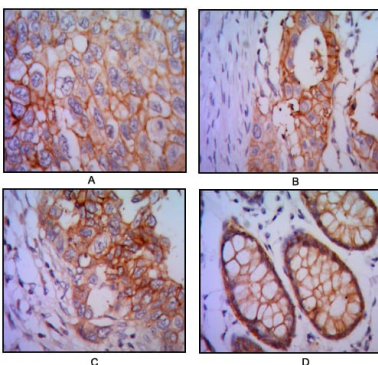
疫療法の治療標的として使用されています。この遺伝子の変異は、先天性房状腸症を引き起こします。組織特異性：このタンパク質は、ほぼすべての上皮細胞膜に発現していますが、中胚葉細胞膜や神経細胞膜には発現していません。腺癌の表面に見られます。ABCAM:上皮細胞接着分子 (EpCAM) は、40 kDa の細胞表面抗原です。この抗原は、多くのグループによって独立して同定されており、様々な名前で知られています。EpCAM に対するモノクローナル抗体がいくつか作成されており、その多くは癌の腫瘍特異的分子として説明されています。EpCAM は、タイプ 1 の膜貫通型糖タンパク質です。成体扁平上皮細胞、および肝細胞や胃上皮細胞などの特定の上皮細胞を除く、ほとんどの上皮組織の細胞基底膜上に発現しています。EpCAM の発現は、腫瘍細胞で発現が亢進し、異形成扁平上皮細胞では新規発現が見られることから、早期悪性腫瘍のマーカーとなる可能性が報告されています。BIOLEGEND: この細胞表面の糖化 40kD タンパク質は、骨髄、結腸、肺、そしてほとんどの正常上皮細胞で高発現しており、消化管起源の癌にも発現しています。

研究分野

画像データ



HTC116 (1) および T47D (2) 細胞溶解物に対する EPCAM マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



EPCAM マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト肺がん (A)、大腸がん (B)、乳がん (C)、および直腸がん (D) の免疫組織化学分析。